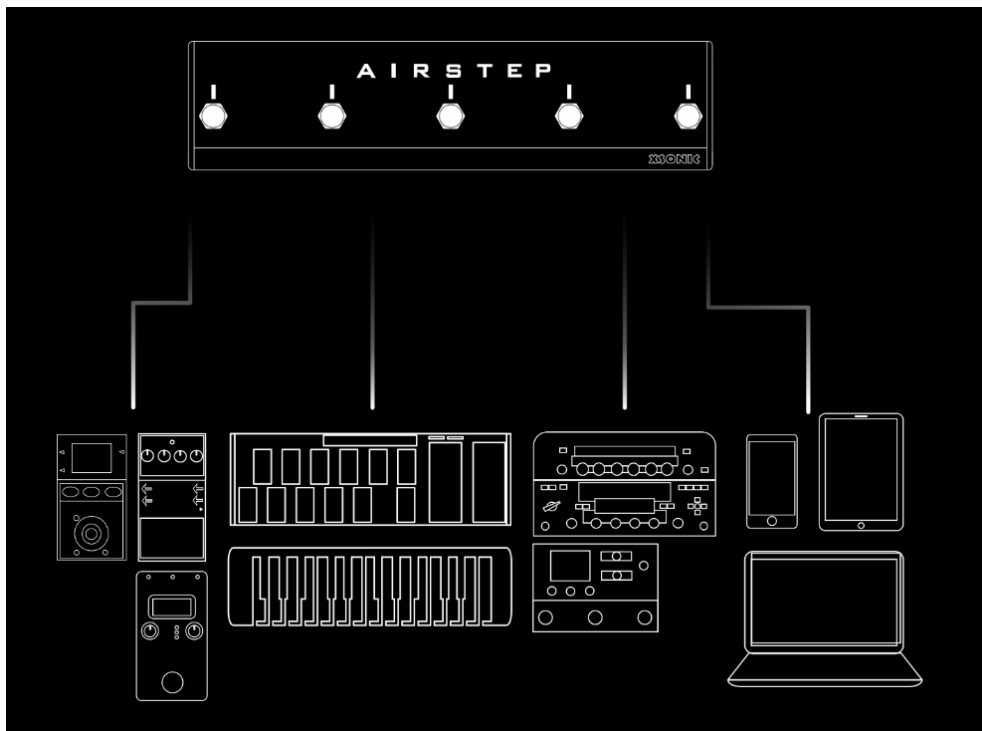


XSONIC AIRSTEP & Lite

Smart Multi Controller



From Now On, You Only Need One Controller

日本語マニュアル

©2021 Hook Up, Inc.

1. AIRSTEP とは.....	4
2. AIRSTEP が送信するメッセージの種類.....	5
MIDI メッセージ.....	5
HID メッセージ.....	5
フットスイッチメッセージ.....	6
3. AIRSTEP の端子.....	7
5 ピン MIDI 出力端子 (MIDI OUT).....	7
フットスイッチ出力端子 (F/S OUT).....	7
フットスイッチの極性.....	8
USB 端子 (USB).....	8
5 ピン MIDI 入力端子 (MIDI IN).....	9
エクスプレッションペダル端子 (EXP).....	9
アンテナ.....	9
充電について.....	10
電源スイッチ (PWR).....	10
マルチファンクションボタン (FUNC).....	10
フットスイッチ.....	11
フットスイッチインジケータ.....	11
接続インジケータ.....	11
4. スマートデバイスとアプリとの接続.....	12
USB 接続.....	12
Bluetooth ペアリング.....	12
Bluetooth MIDI を接続する.....	12
AIRSTEP アプリとの接続.....	15
5. AIRSTEP Lite とは.....	17
6. AIRSTEP Lite との接続.....	19
7. AIRSTEP アプリ.....	20
8. AIRSTEP プリセットとは.....	21
フットスイッチパラメータ.....	21
MIDI IN パラメータ.....	22
エクスプレッションペダルのパラメータ.....	23
9. ローカルプリセットストレージの位置.....	24
10. プリセットのロード、編集、保存、リセット.....	24
11. メッセージの編集.....	25
12. デバイスコマンド.....	27

13.フットスイッチの設定.....	28
フットスイッチのノーマルモードでの設定ガイドライン	30
フットスイッチのトグルモードでの設定ガイドライン	31
フットスイッチインジケータモードの設定ガイドライン	32
14. MIDI Forward 機能.....	33
15. MIDI Trigger 機能.....	35
16.エクスプレッションペダル入力	37
17.パラメーター	38

1. AIRSTEP とは

AIRSTEP はほとんどすべての音楽関連のデバイスとソフトウェアをコントロールできる、これまでにないフットコントローラーです。

AIRSTEP は、すべてのデバイスをコントロールできます。また、MIDI インターフェイス機能がないペダルやアンプなどでも、フットスイッチ (TRS) インターフェイスを備えたデバイスをコントロールすることもできます。

AIRSTEP は、Bluetooth MIDI や HID を経由で、スマートフォン、タブレット、およびコンピューター上のソフトウェアをワイヤレスでコントロールできます。シミュレーション系ソフトウェア、プラグイン、DAW などではもちろん、YouTube でのギターレッスンの再生/一時停止、早送り/巻き戻しや、譜面表示ソフトでの楽譜のページめくりも操作でき、手を使って操作する必要がないので、演奏に集中できます。

AIRSTEP には 5 つのフットスイッチが装備されており、AIRSTEP Lite を追加するとさらに 5 つのフットスイッチをワイヤレスで増設できます。1 つのスイッチでは最大 8 つの異なるメッセージを送信できます。

AIRSTEP APP ですべての機能を簡単に設定できますが、プログラミングと編集操作が得意ではない、という方もいらっしゃるでしょう。そういう方のために、用意されたテンプレートをオンラインでダウンロードすれば、真の意味でのプラグアンドプレイが実現します！

AIRSTEP は内蔵の充電式バッテリーで駆動するので、外部電源は必要ありません。そのコンパクトな筐体と頑丈な金属製ケースにより、ミュージシャンがしばしば直面する厳しい現場にも対応できるように設計されています。

2.AIRSTEP が送信するメッセージの種類

MIDI メッセージ

AIRSTEP は、5 ピン MIDI インターフェイス、USB、Bluetooth 経由で MIDI メッセージを送信します。AIRSTEP がサポートする MIDI メッセージのタイプには、プログラムチェンジ、コントロールチェンジ、ノートオン/オフ、システムリアルタイム、システムエクスクルーシブ、システムコモン、チャンネルプレッシャー、ポリフォニックプレッシャーが含まれます。これらのメッセージはすべてアプリで編集でき、さまざまな出力インターフェイス用に指定できます。



HID メッセージ

HID メッセージは、コンピューターのキーボードによって送信されるメッセージで、AIRSTEP のフットスイッチは、コンピューターキーボードの任意のキー、またはそのキーの組み合わせを送信できます。

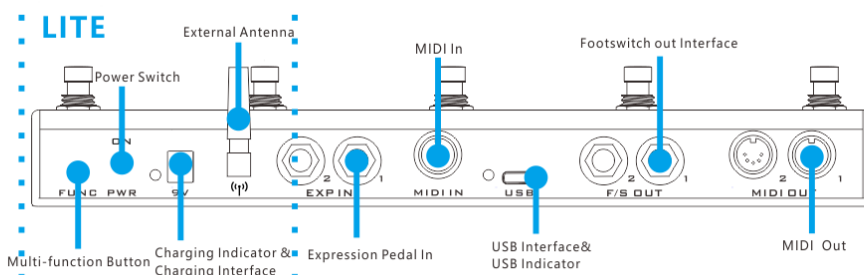
例えば、Bluetooth 経由でスマートフォンまたはコンピューターに接続し、この HID メッセージを送信し楽譜表示ソフトのページをめくったり、コンピューターでの音楽の一時停止/再生や YouTube のショートカットをコントロールしたりできます。アプリでは、送信する特定の HID メッセージ値(キーボードキー値)を編集できます。

フットスイッチメッセージ

フットスイッチメッセージは、一般的なフットスイッチが送信するメッセージです。デバイス(通常はストップボックスまたはアンプ)を一般的なフットスイッチに接続できるのであれば、AIRSTEP でコントロールできます。

AIRSTEP は、アプリで設定できるモーメンタリーとラッチの 2 種類のフットスイッチメッセージを送信します。TRS ケーブルまたは TS ケーブルを使用して、コントロールしたいデバイスに接続します。回線の種類については、お使いの機器の取扱説明書などをご覧ください。

3.AIRSTEP の端子



5 ピン MIDI 出力端子（MIDI OUT）

標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、コントロールしたいデバイスに接続します。各出力端子から、異なる MIDI メッセージを出力するように指定もできます。2 つの端子を持ちます。

フットスイッチ出力端子（F/S OUT）

***生産ロットによって RELAY と表示されている場合があります。**

AIRSTEP は、合計 4 つのフットスイッチ出力端子（3P 端子が 2 つあるのでフットスイッチ 4 つ分として動作）を装備しています。フットスイッチ出力は、FS ジャックを備えたアンプとストンプボックスなどのフットスイッチとして使用できます。デバイスが一般的なフットスイッチに接続できるのであれば、すべてここに接続できます。

フットスイッチ出力は、モーメンタリーまたはラッチに設定でき、ほとんどのデバイスに適合させることができます。

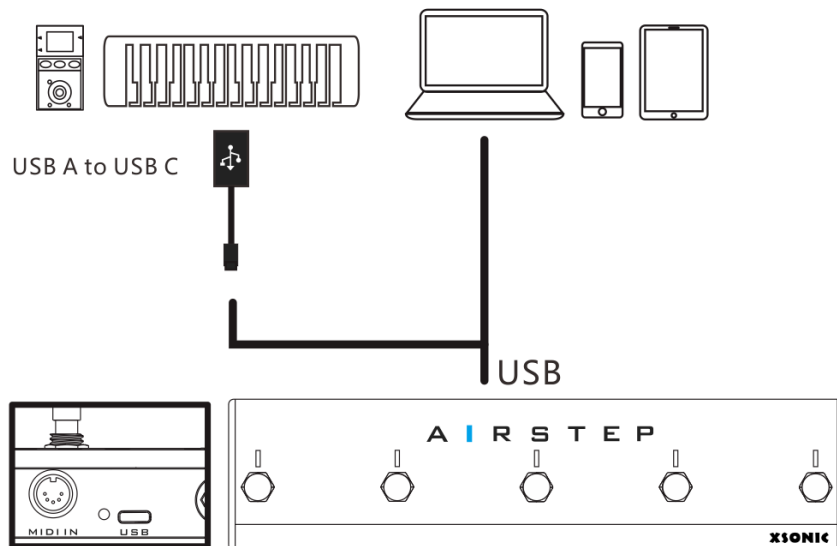
TRS ラインまたは TS ライン経由でコントロールデバイスを接続する場合は、使用する特定のラインのコントロールデバイスのマニュアルを参照してください。不明な場合は、工場出荷時のプリセットで「16.エクスプレッションペダル入力」を参考にメッセージタイプを確認することもできます。

フットスイッチの極性

Tip1、Ring1 は F/S 出力 1 のチップとリングに対応します。Tip2、Ring2 は F/S 出力 2 のチップとリングに対応します。



USB 端子 (USB)



USB-C タイプの端子を装備しています。この USB 端子では MIDI メッセージを送受信できます。デバイスモード (USB デバイス) またはホストモード (USB ホスト) で動作します。デフォルトはデバイスモードです。OTG ケーブルで接続すると、ホストモードで動作します。

パソコンと接続する場合は、付属の USB ケーブルで接続してください。MIDI キーボードや ZOOM MS シリーズと接続する場合は、付属の OTG ケーブルで接続してください。このとき、USB はホストモード (USB ホスト) で動作します。ホストモードでは、USB は外部デバイスに電力を供給しますが、電源電流は 100mA までです。

USB が外部機器に正常に接続されると、USB インジケータが点灯します。

5 ピン MIDI 入力端子 (MIDI IN)

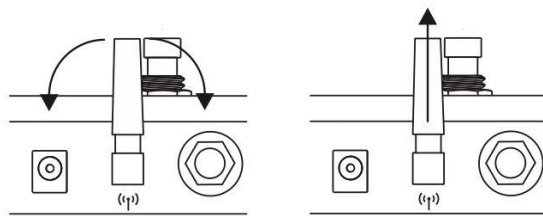
外部デバイスから送信された MIDI メッセージを受信するには、標準の 5 ピン MIDI ケーブルで外部デバイスと接続します。

この端子で受信したすべての MIDI メッセージは、Bluetooth、USB、および MIDI 出力端子を含む任意の MIDI 出力端子に転送できます。独自のトリガー機能を使用して、受信した特定の MIDI メッセージを AIRSTEP がサポートするメッセージに変換することもできます。

エクスペッションペダル端子 (EXP)

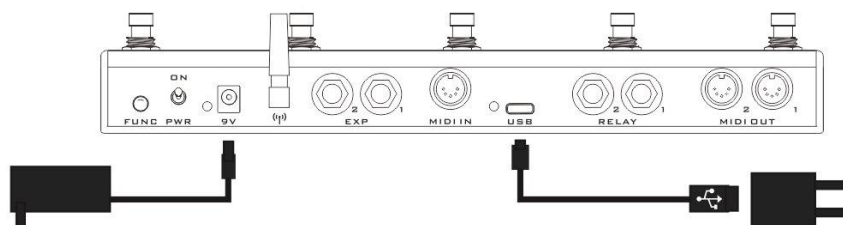
本機は 3P タイプのエクスペッションペダルの端子を 2 つ装備しています。TRS タイプまたは RTS タイプの両方の極性をサポートしており、アプリでエクスペッションペダルタイプを選択できます。接続には TRS ケーブルを使用します。

アンテナ



アンテナは、モバイルデバイスや AIRSTEP Lite とのワイヤレス Bluetooth 通信に使用します。AIRSTEP は MIDI メッセージを送受信し、Bluetooth 経由で HID メッセージも送信します。アンテナを回転させて方向を調整できます。地面に対して垂直の状態、最高のパフォーマンスと最長の通信距離を発揮します。

充電について



充電するには、外側がプラス、内側がマイナスの 5～9V DC 電源に接続します。付属の USB ケーブルを USB ポート付きの電源(スマートフォンの充電器など)に接続するか、一般的な 9V 電源を供給するアダプターなどと接続します。なお付属の充電用の充電用ケーブルでも充電が可能です。充電中は、横にある赤いインジケータライトが点灯し、充電が完了すると、インジケータが緑色に点灯します。最大充電電流は 500mA です。

電源スイッチ (PWR)

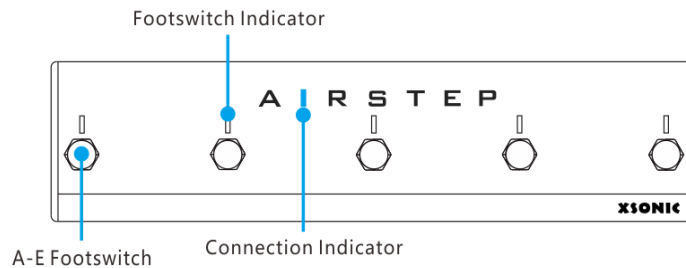
電源スイッチを上げると電源が入り、下げると電源が切れます。使用しないときは電源を切り、節電するようにしましょう。

マルチファンクションボタン (FUNC)

短く押すと、5つのローカルプリセットが切り替わります。

フットスイッチ

5 つのフットスイッチ A、B、C、D、E が装備されています。各フットスイッチは、プレス、リリース、ロングプレス 3 つのトリガーモードを設定できます。1 つのトリガーで、MIDI メッセージ、HID メッセージ、リレーメッセージなど、最大 8 つの異なるメッセージを送信できます。



フットスイッチインジケータ

各インジケータは、ノーマルモードとトグルモードの 2 つの表示モードに設定できます。ノーマルモードでは、現在トリガーされているインジケータのみが点灯します。トグルモードでは、フットスイッチインジケータが最初にトリガーされると点灯し、フットスイッチインジケータが 2 回目にトリガーされると消灯します。

5 つのフットスイッチインジケータは、現在のローカルプリセット位置を示します。ローカルプリセットを切り替えると、対応するインジケータが緑色に点滅して、ローカルプリセットの位置を知らせます。左から右に、それぞれローカルプリセット位置 1~5 を表示します。

接続インジケータ

接続インジケータは、Bluetooth 接続ステータスを示します。点灯中は接続されていることを意味し、点滅中は接続されていないことを意味します。

4.スマートデバイスとアプリとの接続

AIRSTEP は、Bluetooth 経由でスマートフォン、タブレット、コンピューターに接続でき、接続すると MIDI メッセージと HID メッセージを送信します。さらに、AIRSTEP は USB 経由で PC に接続することも、USB + iOS 専用 OTG(別売)経由で iOS デバイ스에接続することもできます。USB 接続を使用して送信できるのは MIDI メッセージのみであることに注意してください。スマートフォンまたはタブレット(Android / iOS)では、アプリをダウンロードして AIRSTEP プリセットを編集することもできます。

USB 接続

スマートデバイスを USB 経由で接続するには、USB A-C ケーブルを使ってパソコンと接続して使用できます（注：現在、USB 経由のスマート接続では、AIRSTEP は MIDI 信号のみを送信でき、HID 信号は送信できません。ビデオショートカットキーなどのコントロールができないため、Bluetooth 経由で スマートデバイスと接続することをお勧めします）。

Bluetooth ペアリング

AIRSTEP の電源を入れると、接続状態インジケータが点滅します。スマートフォン、タブレット、またはコンピューターのシステム Bluetooth 設定を入力し、Bluetooth デバイスを検索します。通常の場合では、AIRSTEP が見つかるのでクリックして、ペアリングを完了します。ペアリングが成功すると、接続インジケータは常にオンになります。

Bluetooth MIDI を接続する

iOS / Mac で AIRSTEP の Bluetooth 機能を使用するには:

1. AIRSTEP とデバイスとを Bluetooth でペアリングします。
2. Bluetooth MIDI 機能: App Store で「Bluetooth MIDI Connect」をダウンロードし、デバイスリストに移動して AIRSTEP を選択し、接続します。

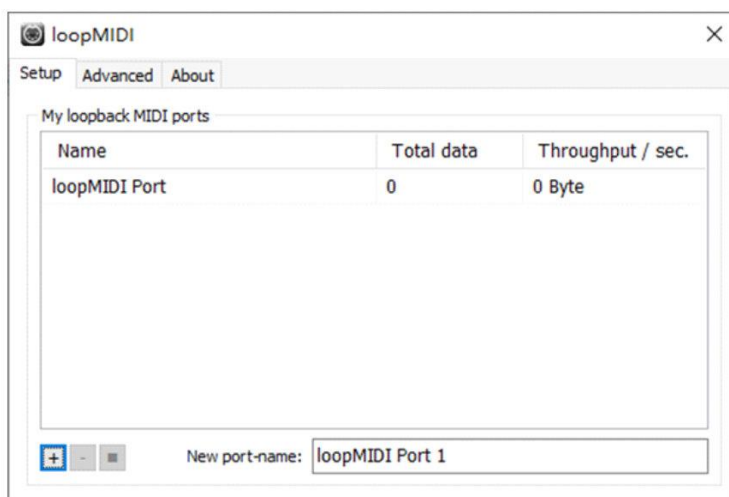
Windows で AIRSTEP の Bluetooth 機能を使用するには :

1. AIRSTEP とデバイスを Bluetooth でペアリングします(PC に Bluetooth モジュールがない場合は、Bluetooth4.0 以降をサポートする USB Bluetooth アダプターを購入してください)。ペアリングが成功した後、「Swift Pair」オプションがある場合は、有効にしてください。
2. Bluetooth MIDI 機能を有効にします (Bluetooth MIDI 機能は WIN10 のみをサポートします)。

A. LoopMIDI を、次のリンクからダウンロードします。

<http://www.tobias-erichsen.de/software/loopmidi.html>

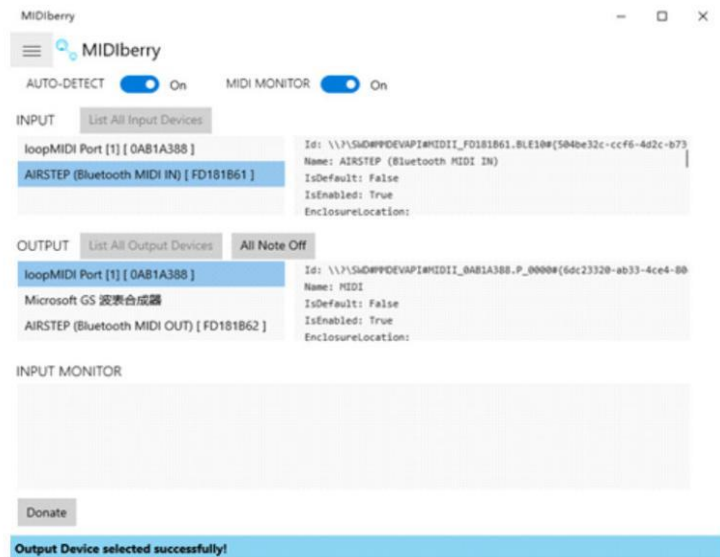
B. インストール後、LoopMIDI アプリを起動し、+記号をクリックして loopMIDI ポートを追加します



C. Microsoft App Store にアクセスし、「MIDIberry」を検索してダウンロードします。



D. インストール後、MIDIberry アプリケーションに起動し、入力として AIRSTEP (Bluetooth MIDI IN) を選択し、出力として loopMIDI PORT を選択します。



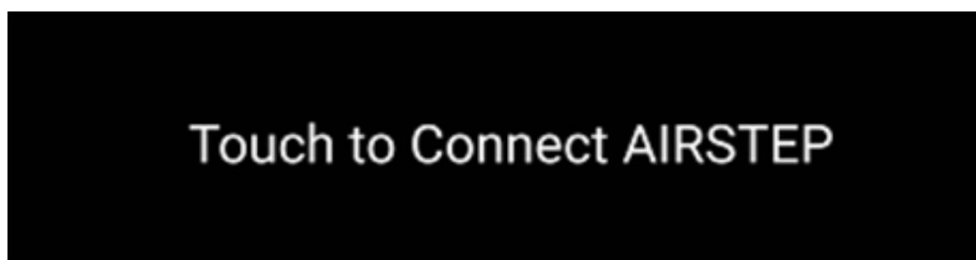
E. コントロールしたいアプリの MIDI 入力に loopMIDI PORT を選択します。使用中は MIDiberry をオンにしておいてください。

AIRSTEP アプリとの接続

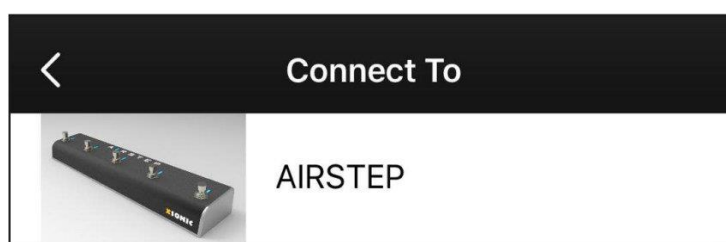
プリセットを編集したり、AIRSTEP の動作状態を確認したりする場合は、AIRSTEP を AIRSTEP APP に接続する必要があります。まず、APP Store または Google Play にアクセスして「AIRSTEP」を検索し、アプリをダウンロードします。次に、AIRSTEP とスマートフォンの Bluetooth が正常にペアリングされ、インジケータライトが常に点灯していることを確認します。アプリを起動し、画面下部の「Touch To Connect AIRSTEP」をクリックして接続を完了します。

接続が成功すると、アプリは AIRSTEP の現在のプリセットデータ、現在のバッテリーレベル、ローカルプリセット番号およびその他の情報を表示します。

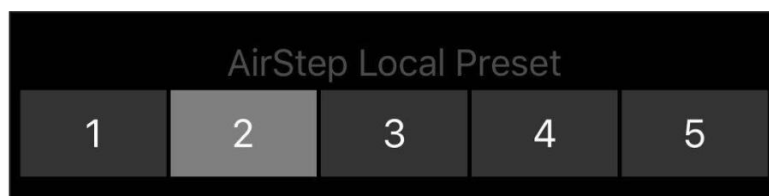
A. AIRSTEP APP を起動し、「Touch to Connect AIRSTEP」をクリックして、AIRSTEP / LITE に接続します。



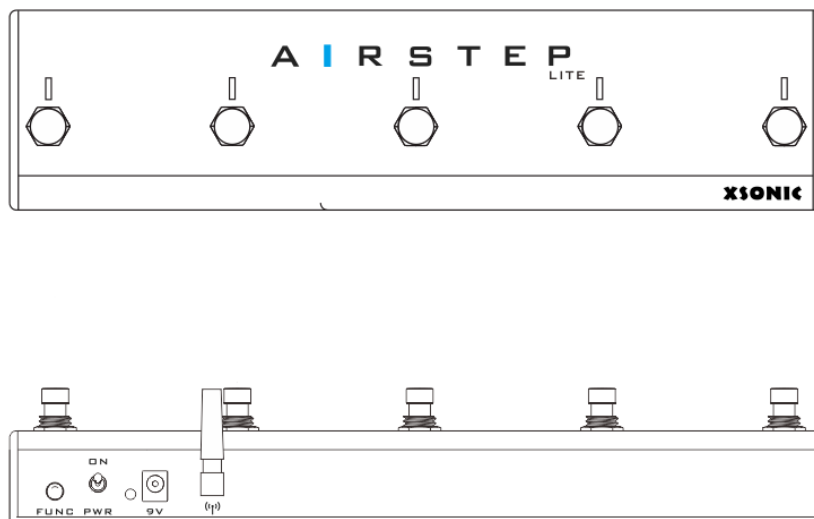
B. 「AIRSTEP」をクリックします



C. アプリの下部にあるインターフェースが下の図のように表示されている場合は、接続が成功しているということです。



5. AIRSTEP Lite とは



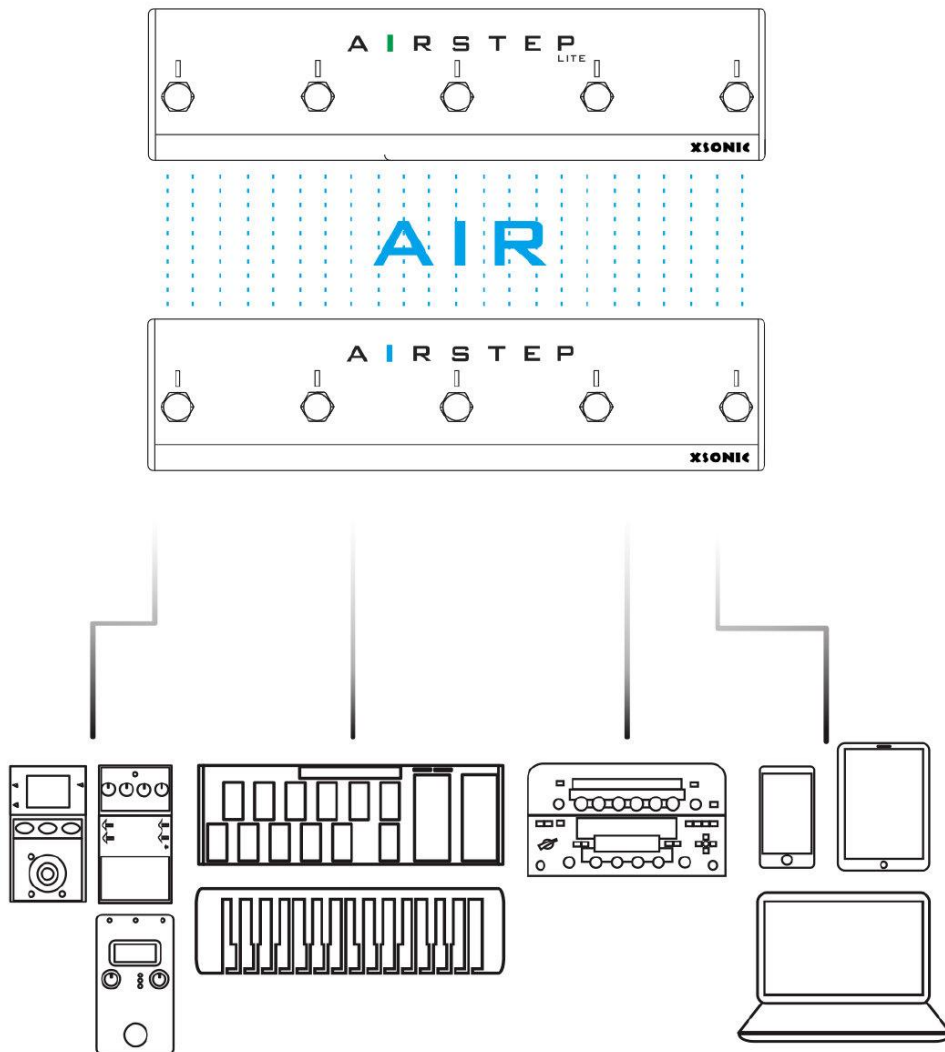
AIRSTEP Lite は、AIRSTEP のライトバージョンです。AIRSTEP に搭載されている Bluetooth 以外の機能のための MIDI、リレー出力、USB、エクスプレッションペダル端子などの有線コントロール端子はすべて省略されています。

AIRSTEP Lite は、主にワイヤレスコントロールに使用されます。スタンドアロンモードとワイヤレス外部フットスイッチモードの 2 つのモードで動作します。

スタンドアロンモードでは、Lite Bluetooth はスマートフォン、タブレット、およびコンピューターに接続して、MIDI メッセージと HID メッセージを送信します。現時点では、Lite の接続と使用方法は AIRSTEP と同じですので、これらの点についてはここまでの AIRSTEP での接続方法などを参照してください。

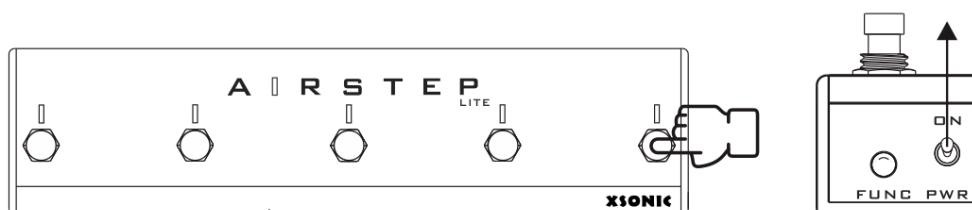
ワイヤレス外部フットスイッチモードでは、Lite はワイヤレス外部フットスイッチとして AIRSTEP に接続します。現時点では、すべてのコントロールメッセージは AIRSTEP から送信され、Lite はワイヤレス拡張機能としてのみ使用されます。

wireless external footswitch mode
Control all your devices wireless



6. AIRSTEP Lite との接続

「5. AIRSTEP Lite とは」セクションの説明の通り、AIRSTEP Lite には、スタンドアロンモードとワイヤレス外部フットスイッチモードの 2 つの動作モードがあります。E ボタン(下図参照)を押し続けたまま、電源スイッチを入ると作業モードを切り替えられます。接続インジケータが青色に点灯している場合は、スタンドアロンモードです。接続インジケータが緑色に点灯している場合は、ワイヤレス外部モードです。

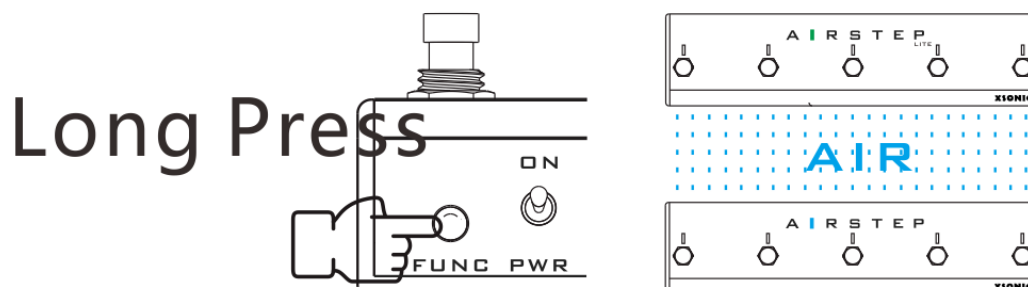


Long Press + Trun on the PWR

スタンドアロンモード: Bluetooth 接続方法は AIRSTEP と同じです。「4. スマートデバイスとアプリとの接続」のセクションを参照してください。

ワイヤレス拡張フットスイッチモード: Lite は AIRSTEP とペアリングして接続する必要があり、両方の電源を同時にオンにしておく必要があります。

Lite の緑色のライトが点灯している場合は、AIRSTEP との接続が確立されていることを示しています。Lite の緑色のライトが点滅している場合は、AIRSTEP の接続が確立されていないことを意味します。この場合、再ペアリングが必要になる場合があります。AIRSTEP のファンクションボタン (FUNC ボタン) を長押しします。このとき、Lite の接続インジケータが緑色に点灯していれば、ペアリング接続に成功しています。



8.AIRSTEP プリセットとは

AIRSTEP アプリを使うと、AIRSTEP プリセットライブラリから膨大なデフォルトプリセットをロードしたり、プリセットを編集して保存したりできます。AIRSTEP のプリセットのカスタム編集について知りたい場合は、以下を注意深くお読みください。

AIRSTEP のすべてのコントロールデータはプリセットとして保存されます。プリセットの完全なセットは、トリガーモード、メッセージタイプ、メッセージの特定の定義、メッセージの出力端子、フットスイッチに対応するインジケータモードなどのパラメーターで構成されています。

フットスイッチパラメーター



PC 0 :

フットスイッチの名前: コントロール対象デバイスに対応するパラメーターまたはこのフットスイッチによって送信されるコマンド値として、フットスイッチに名前を付けることをお勧めします。

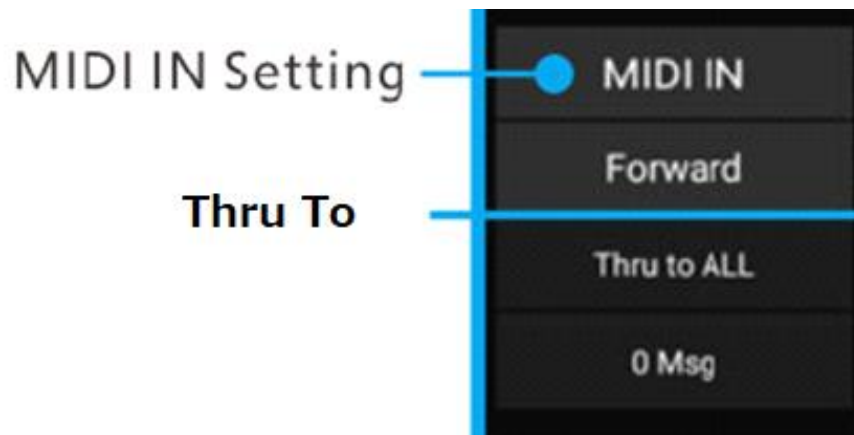
MIDI :

メッセージの種類、MIDI、HID、リレー、デバイスの合計 4 種類です。最初の 3 つは、AIRSTEP によって送信されたメッセージです。デバイスメッセージは、AIRSTEP のローカルメッセージです。

1 Msg :

メッセージ定義、メッセージ数の表示、またはモードの切り替えです。

MIDI IN パラメーター



Forward :

MIDI IN の名前で、これは自由にカスタマイズできます。

Thru To :

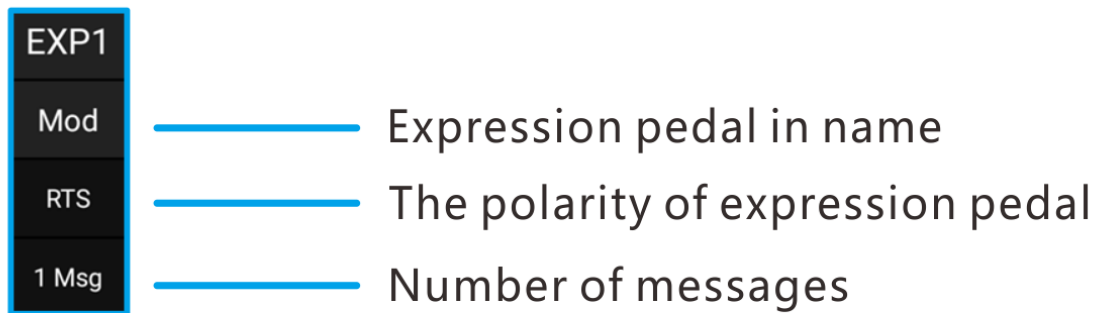
Forward は、MIDI 入力がどの出力に転送されるかを表示します。

0 メッセージ :

MIDIトリガーメッセージの数で、現在の 0 は、MIDIトリガーメッセージがないことを意味します。

エクスプレッションペダルのパラメーター

エクスプレッションペダルのタイプ、MIDI メッセージ、出力端子などのパラメーターが含まれています。各エクスプレッションペダルは、最大 8 つの MIDI メッセージを送信できます。



Mod :

エクスプレッションペダル入力の名前で、これは自由にカスタマイズできます。

RTS :

エクスプレッションペダルタイプ、RTS または TRS。デフォルトは RTS です。

1 Msg:

メッセージの数です。

9. ローカルプリセットストレージの位置

AIRSTEP には 5 つのローカルプリセットストレージの位置があるため、AIRSTEP がアプリに接続されていないときには、5 つのプリセットを使用でき、ローカルプリセットはファンクションボタン (FUNC キー) を押して周期的に切り替えることができます。

アプリが AIRSTEP に接続されると、AIRSTEP のローカルプリセット番号が画面の下部に表示され、クリックして切り替えることができます。プリセットをロードまたは編集した後、右上隅にある SAVE ボタンをクリックして、プリセットを対応するローカルプリセットストレージ位置に保存します。

10. プリセットのロード、編集、保存、リセット

アプリと AIRSTEP が接続されると、AIRSTEP の現在のプリセットデータとこのプリセットのローカルストレージ位置が表示されます。アプリプリセットリストから AIRSTEP に新しいプリセットをロードできます。新しいプリセットはロード後すぐに有効になります。クリックして対応する編集インターフェイスに入り、プリセットデータを編集することもできます。編集後、画面右上の「Done」をクリックして有効にします。

ロードまたは編集したプリセットをアプリおよび AIRSTEP のローカルプリセット保存位置に保存するには、メインページの右上隅にある SAVE ボタン (フロッピーディスクのアイコン) をクリックします。ポップアップが出るので、ここで保存名や説明を変えることもできます。保存をするならば「DONE」をクリックします。

すべてのプリセットをリセットする方法は、AIRSTEP アプリを削除して再インストールすることです。AIRSTEP に接続したら、下の「Touch to Connect AIRSTEP」をクリックし、右上の SAVE ボタンをクリックします。ウィンドウがポップアップしても、パラメーターを変更する必要はありません。「DONE」をクリックして、工場出荷時のプリセットに戻します。

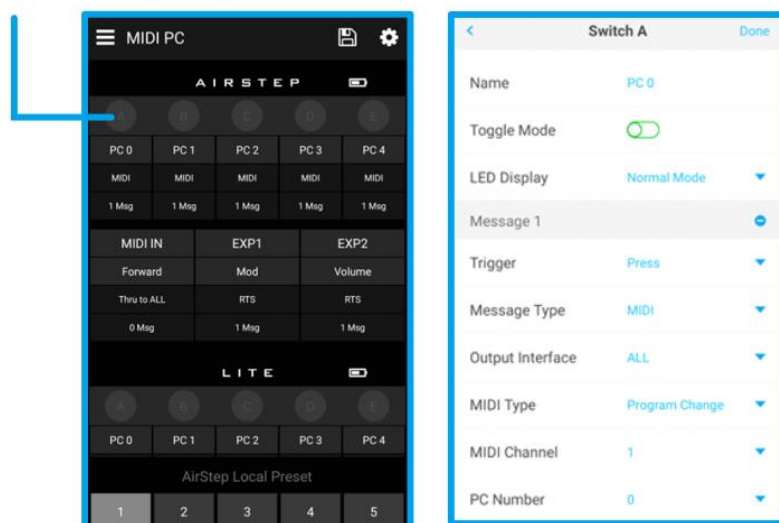
11.メッセージの編集

AIRSTEP は 3 種類のメッセージを送信できます。メッセージの説明については「2.AIRSTEP が送信するメッセージの種類」をご覧ください。このセクションでは、メッセージの編集方法についてのみ説明します。

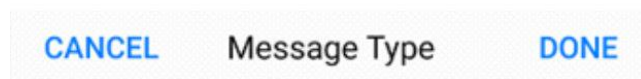
フットスイッチ、MIDIトリガー、エクスプレッションペダルなどのすべてメッセージを送信できます。アプリに対応する編集ページに設定を入力して、送信メッセージを設定します。ここで、フットスイッチを例にしてメッセージの設定方法を説明します。

1. クリックしてフットスイッチページを開きます。

Edit the A footswitch



2.メッセージの編集には、主にメッセージタイプ (Message Type) と出力端子 (Output Interface) が含まれます。まず、図に示すように、メッセージタイプを設定し、クリックして入力し、スライドして必要なメッセージタイプを選択します。



3. メッセージ設定で、送信するメッセージタイプを MIDI、HID、Footswitch、Device から選択します。次に出力端子を選択し、使いたい出力端子にチェックマークを付けます。「Done」をクリックして決定です。チェックマークがすべてに付いている場合は「ALL」と表示されます(ここでは MIDI を例として取り上げています)。

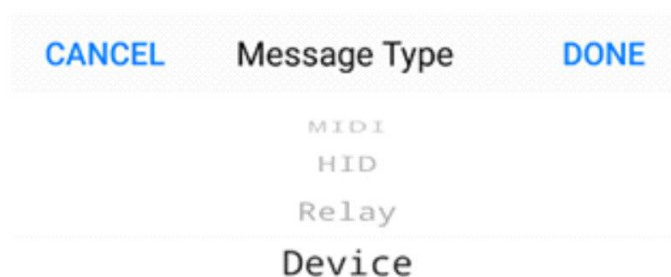
4.次に、MIDI パラメーター、HID キー値、リレーモーメンタリー、ラッチなど、メッセージの特定のパラメーターを編集します。編集後「Done」をクリックし、メインページに戻り、右上隅にある SAVE ボタンをクリックします。

*メッセージタイプのうち、Device のみ特殊で、メッセージタイプや出力端子の設定を持ちません。詳しくは次の項目で説明しています。

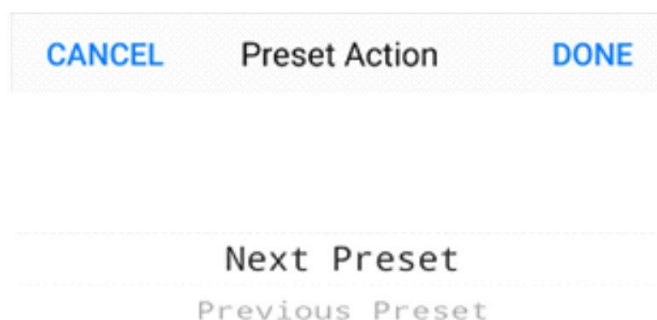
12. デバイスコマンド

Device コマンドは、AIRSTEP 内の特別なメッセージタイプです。AIRSTEP のローカルプリセットを切り替えるために使用される内部コマンドです。したがって、メッセージタイプで Device を選択すると、出力端子は表示されません。Device コマンドを使用して、次または前のプリセット位置に切り替えたり、5つのローカルプリセット位置のいずれかにジャンプしたりできます。設定方法は以下のとおりです。

1. メッセージタイプで Device を選択します

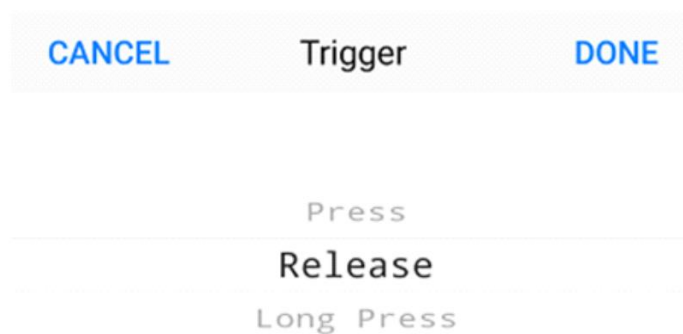


2. 次に、プリセットアクションで切り替えたい方法を選択します。次に、メインページに戻り、右上隅にある「SAVE」ボタンをクリックします。

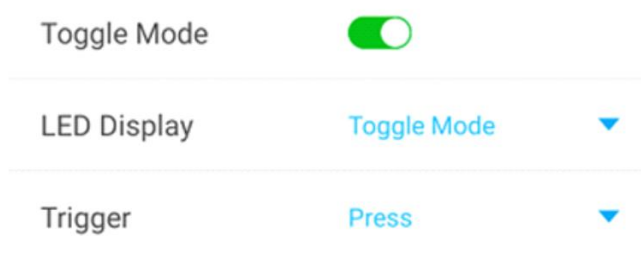


重要：ファンクションボタンのプリセット切り替え機能とは異なり、デバイスコマンドはグローバルメッセージではないため、指定されたプリセット内でのみ有効です。

13. フットスイッチの設定



AIRSTEP のフットスイッチは、Press (踏む)、Release (放す)、Long Press (踏みっぱなし) の 3 つのトリガーモードに設定できます。各フットスイッチは最大 8 つの異なるメッセージを送信でき、各メッセージはトリガーモードに対応できます。



フットスイッチは、ノーマルモードとトグルモードの 2 つのモードに設定できます。ノーマルモードでは、フットスイッチによる同じトリガーアクションを介して同じメッセージが送信されます。トグルモードでは、同じフットスイッチアクションの最初のトリガーと 2 番目のトリガーに対して、2 つの異なるメッセージまたは異なるメッセージグループが送信されます。これにより、コントロールの柔軟性が大幅に向上します。

LED Display	Normal Mode	▼
		Done
Normal Mode		✓
Toggle Mode		
Off		

フットスイッチインジケータには、ノーマル、トグル、オフの 3 つの LED ディスプレイモードがあります。

AIRSTEP が AIRSTEP Lite に接続されている場合 (Lite はワイヤレス外部フットスイッチとして機能します)、システム上のフットスイッチの数は 10 に増加します。ワイヤレス外部モードでは、AIRSTEP Lite のフットスイッチは AIRSTEP と同じ機能を持ちます。Lite のフットスイッチを押すと、すべてのメッセージが AIRSTEP から出力されます。

フットスイッチのノーマルモードでの設定ガイドライン

トグルモードボタンがオフの場合、ノーマルモードになっています。ノーマルモードでは、トリガーモードは各メッセージで設定されます。メッセージを 1 つだけ送信する必要がある場合は、「Trigger」でトリガーアクションを選択するだけで済みます。1 つのトリガーアクションで複数のコマンドを送信する必要がある場合は、メッセージを追加して、同じトリガーモードまたは異なるトリガーモードに設定できます。

例 1: この状態で、ボタンを 1 回押すと、複数のメッセージが送信できます。

Message 1		⊖
Trigger	Press	▼
Message 2		⊖
Trigger	Press	▼
Message 3		⊖
Trigger	Press	▼

例 2: この状態でプレス/リリースすると、それぞれ異なるメッセージを送信できます。

Message 1		⊖
Trigger	Press	▼
Message 2		⊖
Trigger	Release	▼

例 3:この状態でリリース/ロングプレスすると、それぞれ異なるメッセージを送信できます。

Message 1		⊖
Trigger	Release	▼
Message 2		⊖
Trigger	Long Press	▼

注:プレスとロングプレスはトリガーモードとして競合しています。ロングプレスはプレスと同じトリガーアクションになるため、同時に使用することはできません。

フットスイッチのトグルモードでの設定ガイドライン

トグルモードボタンがオンの場合、トグルモードが有効になっています。トグルモードは、1 つの同じアクションの 2 回のトリガーで異なるメッセージを送信することです。毎回送信される 1 つまたは複数のメッセージは、それぞれ Toggle On および Toggle Off で定義できます。Toggle On は最初に踏んだとき、Toggle Off は 2 回目に踏んだときです。Toggle On または Toggle Off で、それぞれ最大 4 つのメッセージを定義できます。

Toggle On

Message 1	⊖
-----------	---

Toggle Off

Message 1	⊖
-----------	---

フットスイッチインジケータモードの設定ガイドライン

LED 表示モードでは、ノーマル、トグル、オフの 3 つのモードを設定できます。

LED Display	Normal Mode	▼
		Done
Normal Mode		✓
Toggle Mode		
Off		

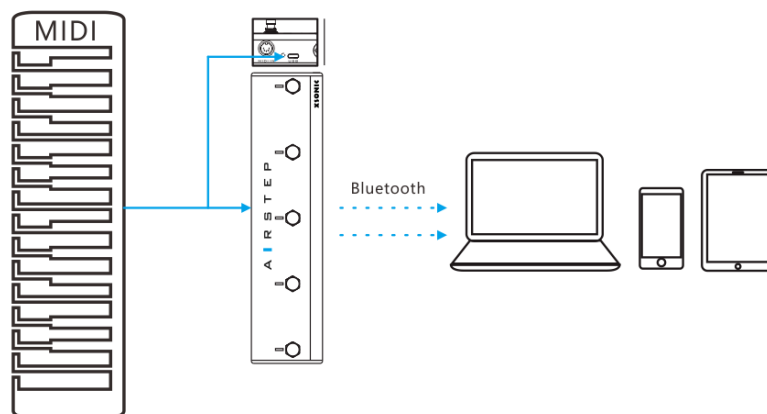
フットスイッチインジケータのノーマルモード:プリセットでノーマルモードに設定されているすべてのフットスイッチインジケータの中で、どのフットスイッチがオンになっていて、どのライトが常にオンになっているのかを表示します。

フットスイッチインジケータのトグルモード:フットスイッチのトグルモードをオンにすると、フットスイッチインジケータのトグルモードも自動的にオンになり、フットスイッチのトグルモードの状態を正しく表示できます。フットスイッチがトグルオンの場合、対応するインジケータがオンになり、フットスイッチがトグルオフの場合、対応するインジケータがオフになります。

同時に、フットスイッチインジケータのトグルモードは、フットスイッチのトグルモードの表示として使用されることに限定されません。任意の 2 つの連続するトリガーアクションは、それぞれフットスイッチインジケータのオンとオフに対応できます。たとえば、フットスイッチのノーマルモードでは、1 つのフットスイッチにトリガーアクションが 1 つしかない場合、最初にトリガーされたときに点灯し、2 回目にトリガーされたときに消灯します。1 つのフットスイッチにプレス/リリースなどの 2 つのトリガーアクションがある場合、それは異なるインジケータステータスに対応します。たとえば、プレスアクションとリリースアクション、一方のアクションはインジケータがオン、もう一方のアクションはインジケータがオフというようになります。

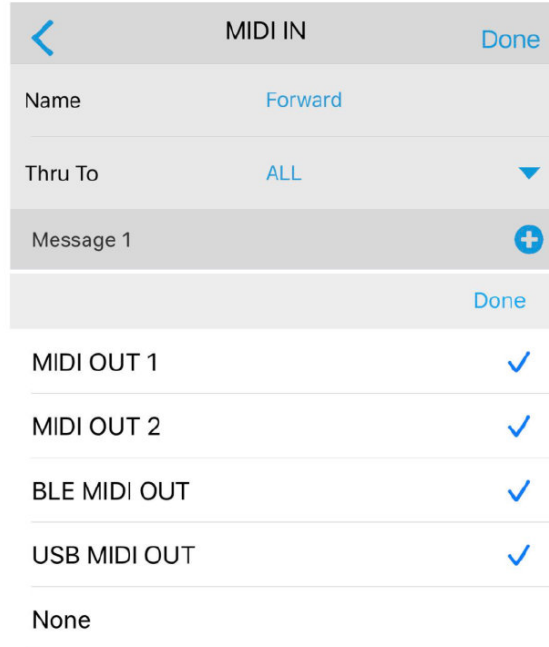
14. MIDI Forward 機能

AIRSTEP の 5 ピン MIDI 入力端子、USB、Bluetooth は MIDI メッセージを受信できます。受信したすべての MIDI メッセージは、5 ピン MIDI OUT インターフェイス、USB、Bluetooth などの任意の出力端子にルーティングおよび転送できます。これを AIRSTEP では MIDI Forward と呼んでいます。



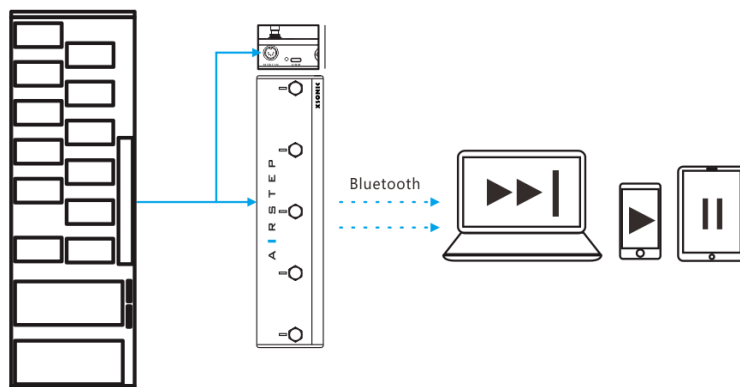
たとえば、MIDI 入力端子を経由してメッセージを USB 出力に転送したり、USB 端子を経由して入力した MIDI メッセージを Bluetooth 出力に転送したり、Bluetooth を経由して入力した MIDI メッセージを 5 ピン MIDI OUT 端子に転送したりできます。

例えば USB MIDI キーボードを AIRSTEP の USB 端子に接続し、それを Bluetooth に変換することで、ワイヤレスキーボードになるわけです。MIDI キーボードは MIDI Forward 機能の恩恵を受けているといえるでしょう。



注:このページの画像例のメッセージ 1 は、MIDI トリガー用です。MIDI Forward 機能のみを使用する場合は、設定する必要はありません。MIDI トリガー機能について知りたい場合は、次のセクションをお読みください。

15. MIDI Trigger 機能



AIRSTEP の 5 ピン MIDI 入力、USB、Bluetooth 端子では MIDI メッセージ入力を受信できます。AIRSTEP は、任意の MIDI IN からの特定の MIDI メッセージを「トリガーメッセージ」として使用できます。AIRSTEP は、「トリガーメッセージ」入力を検出すると、MIDI メッセージ、HID メッセージ、リレーメッセージを出力したり、デバイスコマンドをトリガーしたりできます。また、最大 8 つのメッセージを MIDI トリガーで送信して、同じ機能の AIRSTEP のフットスイッチと同じ役割を持たせることができます。

例えば、他の MIDI フットコントローラーを拡張ペダルとして AIRSTEP に接続できます。AIRSTEP は、コントローラーからの特定の MIDI「トリガーメッセージ」入力を検出すると、カスタム HID メッセージを送信して、コンピューター上のプレーヤーの再生/一時停止をコントロールできます。これは、HID メッセージを送信するように MIDI トリガーを設定した結果です。つまり MIDI トリガー機能は、他の MIDI フットコントローラーの信号を、コンピューターの Bluetooth キーボードに変換できるようになるということです。

MIDI IN		Done
Name	Forward	
Thru To	ALL	▼
Message 1		+
Message 1		-
Trigger Type	Control Change	▼
Trigger MIDI Channel	1	▼
Trigger CC Number	0	▼
Trigger CC Value	0	▼
Message Type	MIDI	▼
Output Interface	ALL	▼
MIDI Type	Control Change	▼
MIDI Channel	1	▼
CC Number	0	▼
CC Value	0	▼

Trigger のパラメーターは、トリガーメッセージの設定です。トリガータイプは、トリガーメッセージのメッセージタイプです。トリガーには MIDI PC または MIDI CC を選択できます。トリガーPC または CC コマンドを設定した後、AIRSTEP の MIDI IN は、この特定のトリガーメッセージを受信した後、特定のメッセージを送信します。トリガーメッセージ設定の下には、トリガー後に送信されたメッセージの設定があります。

16. エクスプレッションペダル入力

AIRSTEP にエクスプレッションペダルを接続すると、5 ピン MIDI OUT、USB、Bluetooth の各端子を経由して MIDI メッセージを送信でき、1 つのエクスプレッションペダルで最大 8 つの異なる MIDI メッセージを送信できます。出力は任意のインターフェイスを選択できます。「11: メッセージの編集」を参照してください。

TRS ケーブルを使用して AIRSTEP にエクスプレッションペダルを接続できます。AIRSTEP は、TRS タイプでも RTS タイプでも、あらゆるタイプのエクスプレッションペダルと互換性があり使用可能です。

Line sequence selection: メインページで EXP をクリックします。図では、エクスプレッションペダル入力 (EXP 1) を例として取り上げています。現在、エクスプレッションペダルのラインシーケンスは RTS と表示されています。

<	EXP1	Done
Name	Not set	
Expression Pedal Type	RTS	▼
<input type="button" value="Test"/>		
Done		
RTS		✓
TRS		

エクスプレッションペダルが RTS タイプの場合は RTS を選択し、エクスプレッションペダルが TRS タイプの場合は TRS を選択してください。リンクをクリックして、エクスプレッションペダルのタイプを確認してください:

<http://expressionpedals.com/list-of-expression-pedals>

それでもわからない場合は、エクスプレッションペダルを接続し、上記の図の [Test] をクリックしてください。エクスプレッションペダルの全範囲で、一定速度でペダルを踏み込みます。エクスプレッションペダルを動かしながらプログレスバーを一定速度で動かすと、値も 0~127 の範囲で均一に変化し、ラインシーケンスが正しいことを示します。そうでない場合は、別のペダルタイプに切り替えてください。

17.パラメーター

MIDI OUT:		MIDI IN:	
Bluetooth MIDI out		Bluetooth MIDI in	
USB host MIDI out with 5V power out		USB host MIDI in with 5V power out	
USB device MIDI out		USB device MIDI in	
5-Pin MIDI out x 2		5-Pin MIDI in	
Send all kinds MIDI message		MIDI in can through to all MIDI out	
		MIDI in with CC and PC, can trigger to all message type	
HID OUT:		RELAY OUT:	
Bluetooth HID		Relay switches out x 4 on 2 TRS ¼" jacks	
USB HID, Send keyboard and consumer HID message		Momentary and latching action assigned on a per switch basis	
Expression Pedal In:		LED indicator:	
Expression pedal in x 2		System LED x 1	
Support all expression pedal types		Individual Foot switch LEDs x 5	
Send MIDI CC messages to all MIDI outs		Blue and Green	
		Normal and toggle modes	
AIRSTEP Lite :		Footswitches:	
A stripped down AIRSTEP with the following differences		Foot switches x 5	
No USB MIDI in / out, Bluetooth midi only		Footswitch actions assignable to press, release and long press trigger	
No 5-Pin MIDI in / out			
No USB HID, Bluetooth HID only			
No relay switch out			
No expression pedal in			
Can be used as a wireless extension foot switch for AIRSTEP			

*RELAY OUT は最近のロットでは F/S OUT(フットスイッチアウト)と表記されています。

Message send:		APP Editor:
Message can be triggered by foot switches, MIDI in and expression pedal		Each Midi trigger and footswitch message can be flexibly edited by App
Message type: MIDI, HID, Relay		Connect to AIRSTEP by Bluetooth
Send up to 8 messages in one trigger		iOS and Android support
Each message can assign different physical output interfaces		Unlimited number of presets can be saved and loaded into AIRSTEP
Normal and toggle message mode		XSONIC library of presets for all your favorite devices
AIRSTEP Local Preset:		Battery Power Supply:
Up to 5 presets can be stored in AIRSTEP locally		300 hours of continuous use
Local preset can be switched by all triggers (except EXP), FUNC button, and App		AIRSTEP is battery powered and rechargeable by 5V - 9V DC
Local presets can work without App		
Firmware:	Wireless Communication Distance:	
Firmware can be updated by Bluetooth and USB	30m line of sight(LOS), between AIRSTEP and phone, tablet, computer	
	30m line of sight(LOS), between AIRSTEP and AIRSTEP Lite	
Appearance:		
Robust Aluminum extruded shell		
Detachable external antenna		
300 x 70 x 45(H) mm		
AIRSTEP 700g / AIRSTEP Lite 650g		

互換性のあるデバイス

- ・iOS デバイス:iOS10 以降
- ・Mac デバイス:OS X10.6 以降
- ・Android デバイス:Android4.0 以降
- ・Windows デバイス:Windows 10

付属ケーブル

- ・USB-A to USB-C ケーブル (コンピューターとの接続用)
- ・USB-C OTG ケーブル (HOST モード接続用)
- ・USB-A to DC ケーブル (充電用)

サポート情報を随時更新しています。以下の URL を定期的にご覧になられることをお勧めします。

<https://hookup.co.jp/support/brand/xsonic>